

滋賀・大阪連携シンポジウム

生きもののにぎわい復活に向けて

～保全・再生に向けた取り組み～

と き：平成28年**2月11日**(木・祝)
13時30分～16時20分 (開場 13時00分)

ところ：コラボしが21 3階大会議室
(滋賀県大津市打出浜2-1)

参加無料
要事前申込

13:40～14:30 基調講演

「私たちにたいせつな生物多様性のはなし」

枝廣 淳子 氏

東京都市大学環境学部教授／幸せ経済社会研究所所長

ノーベル平和賞を受賞したアル・ゴア氏の著書『不都合な真実』を翻訳。
福田・麻生内閣の「地球温暖化問題に関する懇談会」委員ほか国の
審議会委員を歴任。



14:30～16:10 研究報告

餌環境のつながりからみた在来魚介類への影響評価
～プランクトン群集遷移について～

永田 貴丸

(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)

変わりつつある大阪湾の環境と魚介類

日下部 敬之

(大阪府立環境農林水産総合研究所)

滋賀における生物多様性の保全と持続可能な利用促進 宮永 健太郎
～生物多様性の“主流化”とその可能性～

(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)



滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
Lake Biwa Environmental Research Institute



地方独立行政法人 大阪府立 環境農林水産総合研究所
Research Institute of Environment, Agriculture and Fisheries, Osaka Prefecture

プロフィール

枝廣 淳子 (えだひろ じゅんこ)氏

東京都市大学環境学部教授、幸せ経済社会研究所所長

『不都合な真実』(アル・ゴア氏著)の翻訳をはじめ、環境問題に関する講演、執筆、企業のCSRコンサルティングや異業種勉強会等の活動を通じて、地球環境の現状や国内外の動き、新しい経済や社会のあり方、幸福度、レジリエンス(しなやかな強さ)を高めるための考え方や事例を研究。企業や自治体での合意形成に向けての場づくりやファシリテーターも数多く務め、島根県の海士町や滋賀県近江八幡市など、意志ある未来を描く地方創生の戦略策定にも関わっている。

「伝えること」で変化を創り、「つながり」と「対話」でしなやかに強く、幸せな未来の共創をめざす。『世界はシステムで動く』、『レジリエンスとは何か一何があっても折れないところ、暮らし、地域、社会をつくる』等、著訳書多数。

東京大学大学院教育心理学専攻修士課程修了。

会場のご案内

申込方法及び問合せ



コラボしが21 3階大会議室

滋賀県大津市打出浜2番1号 TEL 077-511-1400

【アクセス】 公共交通機関をご利用ください。

○JR琵琶湖線「大津」駅よりバス約7分、または徒歩約20分

○JR「膳所」駅より徒歩15分

○京阪電車「石場」駅より徒歩3分

定員200名 締切／平成28年2月8日(月)必着

- ① 氏名・代表者名
- ② 参加人数
- ③ 住所または所属
- ④ 連絡先

をご記入のうえ、E-mail・FAX・郵送のいずれかの方法でお申し込みください。

【申込先】

○滋賀県琵琶湖環境科学研究センター

住所：滋賀県大津市柳が崎5-34

TEL：077-526-4800

FAX：077-526-4803

E-mail: info@lberijp
エル

【問合せ先】

○滋賀県琵琶湖環境科学研究センター

TEL：077-526-4800

○大阪府立環境農林水産総合研究所

TEL：072-979-7070

琵琶湖環境科学研究センター

検索

滋賀・大阪連携シンポジウム 申込書 (送信先:077-526-4803)

(ふりがな)			
氏名	参加人数(人)		
住所	① 滋賀県・大阪府・ 府・県 ② (市区町名:)		
会社名・団体名			
連絡先	電話	FAX	
		E-mail	

※ご記入いただいた個人情報は、本シンポジウム以外の目的で使用することはありません。
また、参加申込の受付票は発行いたしません。

写真提供: (公社)びわこビジュアルズビューロー